

**トピックス**

(1) 第24回関東甲信越ブロック理学療法士学会にストレングスエルゴ240を展示

9/18(日)に下記学術大会(甲府市総合市民会館で開催)にストレングスエルゴ240を併設展示致しました。来場者も多く、デモの要望も有りましたので今後関係部門のご協力を頂きながらフォローいたします。



日時:平成17年9月17日(土)~18日(日)

テーマ:「理学療法の展望」

学会長:橋田 薫(恵信甲府病院)

会場:甲府市総合市民会館

主催:社団法人日本理学療法士協会・関東甲信越ブロック協議会

日本理学療法士協会のホームページは <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jpta/menu.htm>

詳細はホームページを参照願います(<http://oak.zero.ad.jp/yamanashi-pt/kanburo.html>)。

(2)今後の展示会へのストレングスエルゴ240の出展予定をご紹介します。

① 第40回日本理学療法士協会全国研修会(名古屋国際会議場)

平成17年10月7日(金)~8日(土)

詳細はホームページを参照願います([http://www.aichi-pt.jp/40zenken/zenken\\_top.html](http://www.aichi-pt.jp/40zenken/zenken_top.html))。

② リハビリテーション・ケア合同研究大会 大阪2005

(大阪国際会議場(グランキューブ大阪))

平成17年10月28日(金)~29日(土)

詳細はホームページを参照願います(<http://www.pac.ne.jp/rehacare-osaka/>)。

**ワンポイント紹介**

(1)「DPBPとは」

運動負荷試験の20秒毎に収縮期血圧を測定し、心拍数を乗じた値(PRP)から、ランプ負荷中の変曲点(DPBP)を二本の一次回帰直線の交点として求め、別途連続呼気ガス分析から求めた嫌気性代謝閾値(AT)の関係を検討すると、心筋酸素消費量の指標であるPRPは漸増負荷中にAT近傍で変曲点を持って増加し、運動療法における運動強度設定の指標の一つとなる。なお、ATは比較的安全に長時間持続可能な運動の強度設定の目安とされる値。参考となるホームページは<http://homepage2.nifty.com/seri/heart/exe6.htm>

ストレングスエルゴの筋力測定結果からATポイントの運動負荷が推定できる評価方法が発表されています。

(聖マリ山田ら: Estimation of workload for anaerobic threshold by maximal isokinetic leg extension power: 第65回日本循環器学会,2001/3/25)

(2)医師/理学療法士等の発表された論文の調査が可能なWEBサイト情報の紹介

下記ホームページは、情報検索の有効なツールとなります。

国立情報学研究所(<http://www.nii.ac.jp/index-j.html>) の下記が検索用サービスサイトです。

<http://ge.nii.ac.jp/genii/jsp/index.jsp>

**あとがき**

皆様からの情報をお待ちしています。是非投稿をお願い致します。今後ご要望の記事は、メールにて営業部門にご連絡いただくと幸いです。

発行元: 三菱電機エンジニアリング株式会社  
産業システム事業部 制御技術部 ウェルネス課  
〒486-0906 愛知県春日井市下町屋町下屋敷139  
TEL (0568)-36-2064 FAX(0568)-36-2045